



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

北海道洞爺湖町の大久保謙之丞さん(の銅像)

9月16日(火)のつどい(朝の全校集会)では、財田の偉人大久保謙之丞さんに関することを久しぶりに話しました。写真などをパワーポイントのソフトで大スクリーンに映しながら、全校授業のように行いました。以下は、その時の様子です。……

※グーグルアースの地図の写真を写しながら……

齋藤「私たちの住んでいる香川県三豊市財田町を指さしてごらん。」

齋藤「この私たちの三豊市が特に仲よくしている町があります。香川県以外です。」

齋藤「ここです。都道府県でいうとどこだと思いますか？」

子「北海道です。」

齋藤「そう、北海道の中の、町の名前でいうと何町だと思いますか？」と問うと、4年生の子が挙手し、「「たからだ……」だと思います。」と答えました。すごい！北海道の洞爺湖町にも「財田(たからだ)」という所があります。ほとんど大正解というか、更にその上かもしれませんが、今回の大正解は「洞爺湖町」でした。

※グーグルアースで洞爺湖周辺を映して……

齋藤「洞爺湖町って書いています。そして、これが洞爺湖という、大きな大きな湖です。この夏休み、ここに行ってきました。しかし、遊びの旅ではありません。三豊市・洞爺湖町友好都市少年交流事業ふるさと・ふれあいフレンドリーツアーで、三豊市内の12名の6年生といっしょに行ってきました。財田小学校からは6名の6年生がいっしょでした。」

齋藤「その洞爺湖のすぐ側に、この方がいらっしゃいました。どなたですか？」

子「大久保謙之丞さん！！」多くの子がすぐに反応してくれました。

齋藤「でも、謙之丞さんと言えば財田の方ですよね。」財田小学校とたからだの里の謙之丞さんの写真を見せました、どこにいらっしゃる謙之丞さんか、みんなすぐに分かってくれました。さすが財田の子です。

齋藤「わが財田の大久保謙之丞さんの銅像が、遠く離れた北海道洞爺湖町にもある。どうして？」

〈Q1 大久保謙之丞さんの銅像が北海道洞爺湖町にあるのはなぜだろう？〉という問いを映し、全校のみんなで、少しずつ区切りながら、私について読んでもらい、「謙之丞さんが北海道洞爺湖町ととても関係があるから、○か×か？」で挙手してもらいました。ほぼ全員が○に手を挙げたと思います。その通りです。では……、〈Q2 大久保謙之丞さんは、北海道洞爺湖町とどんな関係があるのだろう？〉これだけでは手掛かりがないので、選択肢を出そうと思ったら、5年生の子が手を挙げました。そして、「財田町からちょうさを贈ったことだと思います。」と答えてくれました。そのことを知っているとはすごい。そして、手を挙げて発表したことが更にすごい。大正解に近いのですが、この問いは謙之丞さんについてのことなので、ちょうさを贈ったことよりも昔のことになります。そこで、選択肢を出しました。

〈A1：大久保謙之丞さんは、北海道洞爺湖町に遊びに行った。A2：大久保謙之丞さんは、北海道洞爺湖町に行って、田んぼや畑を作った。A3：大久保謙之丞さんは、田んぼや畑を作るために北海道洞爺湖町に行く人を応援した。〉A2とA3に分かれましたが、大正解は『A3』です。

銅像の側の説明書きに書かれていたことを易しい表現で伝えました。

「今から150年以上前。北海道へは、船で43日もかかりました。当時の北海道の洞爺湖町は、大昔から続く森が続いており、財田町や三豊市の他の地域から移住した人たちは、トラクターや重機がない時代なので、鋤で、人の力で耕さなければなりませんでした。また、北海道のものすごい寒さや害虫などの厳しい自然のため、作物がうまく育たず、あきらめそうになったこともありました。このように苦しんでいる人たちに、謙之丞さんはお金を送ったり、アドバイスを送ったりして応援しました。北海道に渡った人たちは、どれだけ勇気づけられたことでしょう。」

このふるさと・ふれあいフレンドリーツアーに参加した6年生の子どもたちは、たくさんのことを体験しながら学び、謙之丞さんさんのことについても学ぶことができました。

2年生以上の人たちは、去年勉強した時に、謙之丞さんは、財田だけでなく、香川県や四国の人たちのために力を尽くしたということを勉強しましたが、謙之丞さんは、遠い遠い北海道でがんばっている人や北海道の発展のためにも、力を尽くしたのですね。

